

# 40年以上、1,000件以上のプロジェクトを手掛けてきた井出 音 研究所が、音の瞬間芸や空間芸をより進化させる新たなブラン ド "IDEOTO"をつくりました。

音の持つ本質的な効果を世の中に展開していきたいと思います。

「音の瞬間芸」は短い時間で心に届ける技術を活用。

大きな音で驚かせるのではなく美しい音でハッとさせる「元祖JR発車メロディ」、AIに命を吹き込むお知らせ音、寝落ちを演出する30秒のこもりうた、生きていることを感じる木が水を吸い上げる音などの「近くにあるけど聞いたことのない音」、やわらかく高級感のあるブザー音、生徒の気持ちによりそうチャイム、学校・企業を感性的に表すサウンドロゴやチャイム等。

「音の空間芸」は日常から医療分野まで、居ながらにして別の空間に旅ができるような没入感を。

画のない映画館、イメージーションの旅をする立体音響、どんなお風呂も露天風呂にする音空間、何もない空間に無限に広がる森を出現させる自然音の立体音響、空間を彩る特別な音楽等。

これまでに、アメリカ最大のがんセンターにおける音楽による化学療法時の苦痛軽減の臨床研究ではPhase 2に至り、化粧品業界のオリンピックやPR分野の世界大会では世界一の賞を受賞。

IDEOTOは、これらのノウハウと技術を駆使して、音楽と音響を次に進めるブランドを目指します。



# 音は、未来の、ことによると宇宙の、 新しい共通言語 かもしれません。

存在する限り、ほとんどが聴こえないけれど、囁いています。  
また、心から心に伝わる 見えないメディアとしての 不思議な働きもあります。  
この様な音の持つ潜在的な、また顕在化した可能性を、  
社会に様々な形で活かしていきたいというのが 井出音 研究所の想いです。

## 音のきもちアプローチ

ものづくりから、こころづくり きもちづくりへ

気配だけ届けたい

言葉じゃなくて、気持ちの表現をしたい

適度な距離感でロボットとコミュニケーションしたい

一瞬で世界を変えたい

映像を超えてイマジネーションを刺激したい

身体の声を知りたい

空気の質を上げたい 心身共に感じる涼しさ、快適さ

巨大な現象の変化を捉えたい

複数のデータの相関を掴みたい

- 見えないものこそ、人の手のぬくもりを。



井出音 研究所には、各方面の専門家やアーティストが集結しています。

サウンドプロデューサーをはじめ、サウンドディレクター、サウンドプログラマー、ミュージシャン、作曲家、編曲家、ハーピスト、ピアニスト、ベーシスト、知的財産専門家、メンタルヘルス分野、認知科学分野等

あらゆる専門的視点からバックアップしています。

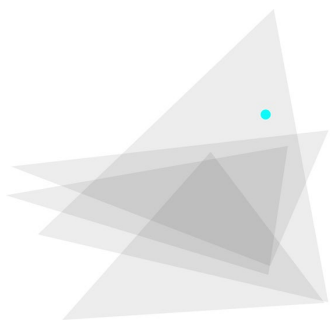
プロジェクトやイベントで制作した音楽や、ミュージシャンとして制作した楽曲をレーベルとして配信もしています。

また、天声人語・NHKスペシャル・ドキュメンタリー等のメディア出演は400回以上、プロダクトデザイン・医療学会等の招待講演も100回以上にも昇ります。

そのストーリーにも価値を持って頂いてることに、商品の音が飾りだけではないことが強く示されています。

井出音研究所は、見えないものによりモノの魅力を引き出していくパートナーを歓迎します。

- 井出音研究所



# 井出音研究所<sup>®</sup>

IDE SOUND LAB.

音の未来を創りあげる、最先端集団。

「音」のきもちを表し、「音」に未来を吹き込み、次の音楽分野を切り拓く。

<http://idesound.com>



所長 井出 祐昭

サウンド・スペース・コンポージャー 井出音研究所 所長

ヤマハ株式会社チーフプロデューサーを経て、2001年有限会社エル・プロデュースを設立。最先端技術を駆使し、音楽制作、音響デザイン、音場創成を総合的にプロデュースすることにより様々なエネルギー空間を創り出す「サウンド・スペース・コンポーズ」の新分野を確立。イマジネーションを最大限に喚起する次世代の立体音響システム“ELPHONIC”を開発し、医療・健康分野との関連も深めている。主な作品として、30周年を迎えるJR新宿・渋谷駅発車ベル、愛知万博、上海万博、浜名湖花博、表参道ヒルズ、グランフロント大阪、東京銀座資生堂ビル、TOYOTA i-REALコンテンツ、TOYOTA Concept-愛i、SHARP AQUOS、立川シネマシティ、世界デザイン博など。

またアメリカ最大のがんセンターMD Anderson Cancer Centerで音楽療法の臨床研究を行う他、科学と音楽の融合に取り組んでいる。最近では、日本ロレアルと共同で髪や肌の健康状態を音で伝える技術を開発。米フロリダ州にて行われた化粧品業界のオリンピックである第29回IFSCC世界大会、PR分野の世界大会であるESOMAR 2017にてグランプリを受賞。特集番組、著書多数。

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000024237.html>

有限会社 エル・プロデュースのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/24237](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/24237)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

広報担当：浦上咲恵

電話：03-6379-7570 メールアドレス：press2@elphonic.com FAX：03-6413-4778